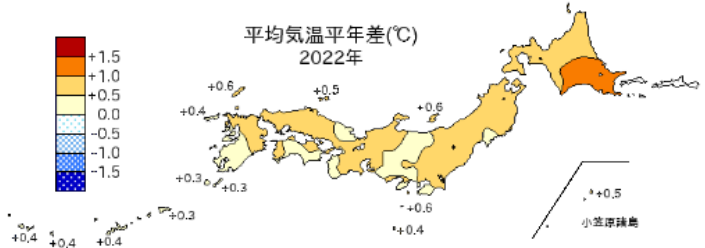


# 令和4年地球温暖化影響調査レポート（概要）

- 「地球温暖化影響調査レポート」は、都道府県の協力を得て、地球温暖化の影響と考えられる農業生産現場における高温障害等の影響、その適応策等について報告のあった内容を取りまとめたもの。（「農林水産省地球温暖化対策総合戦略」（平成19年6月策定）及び「農林水産省気候変動適応計画」（平成27年8月策定）に基づき、平成19年より取り組みを開始。）
- 令和4年地球温暖化影響調査レポートの調査対象期間は、令和4年1月～12月である。

## 令和4年の気象の概要

年平均気温は全国的に高く、特に北日本ではかなり高かった。  
 前年12月～2月は東・西日本では低温となり、日本海側を中心に大雪となった。  
 8月は北・東日本で不順な天候となった。



## 発生報告の多い農畜産物における影響と適応策の実施状況

	影 響					適 応 策
水 稻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出穂期以降の高温により白未熟粒の発生による影響が全国で2割程度でみられ、西日本では4割程度でみられた</li> <li>・ 暖冬により虫害の発生による影響が全国では1割程度でみられた</li> </ul>	 白未熟粒(左)と正常粒(右)				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白未熟粒、胴割粒の発生抑制のため、水管理の徹底、適期移植・収穫</li> <li>・ 高温耐性品種の導入 (作付面積は全国で約16万ha、高温耐性品種の占める割合は12.8%、前年産に比べ0.5ポイント上昇)</li> <li>・ 穂肥施用等の肥培管理の徹底</li> <li>・ 適期防除の徹底</li> </ul>
		全国	北日本	東日本	西日本	
	白未熟粒の発生	2割程度	1割程度	2割程度	4割程度	
虫害の発生	1割程度	1割程度	1割程度	1割程度		
果 樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぶどうでは、果実肥大期以降の高温により着色不良・着色遅延の発生による影響が全国で2割程度でみられ、西日本では4割程度でみられた</li> <li>・ りんごでは、日焼け果の発生による影響が東日本では3割程度でみられた</li> <li>・ うんしゅうみかんでは、日焼け果の発生による影響が西日本では3割程度でみられた</li> </ul>	全国	北日本	東日本	西日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぶどうの着色不良・着色遅延対策として、着色優良品種や着色を気にしなくてよい黄緑系品種の導入など</li> <li>・ 日焼け果対策として、りんごにおいては遮光資材の活用、うんしゅうみかんにおいてはカルシウム剤の散布、樹冠表層の摘果、被覆など</li> </ul>
		全国	北日本	東日本	西日本	
	ぶどう 着色不良・着色遅延	2割程度	1割程度	2割程度	4割程度	 黄緑色品種
	りんご 日焼け果	1割程度	1割程度	3割程度	—	
うんしゅうみかん 日焼け果	3割程度	—	1割程度	3割程度		
野 菜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トマトでは、収穫期の高温により着花・着果不良の発生による影響が全国で2割程度でみられ、西日本では4割程度でみられた</li> <li>・ いちごでは、花芽分化期の高温により花芽分化の遅れの発生による影響が全国で1割程度でみられ、西日本では2割程度でみられた</li> </ul>	全国	北日本	東日本	西日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トマトの着花・着果不良対策として遮光資材の活用、細霧冷房・循環扇、着果率の高い品種の導入など</li> <li>・ いちごの花芽分化安定・促進対策として新品種導入やクラウン部の冷却、培地昇温抑制、遮光資材の活用、細霧冷房など</li> </ul>
		全国	北日本	東日本	西日本	
	トマト 着花・着果不良	2割程度	1割程度	1割程度	4割程度	 トマトの不良果
いちご 花芽分化の遅れ	1割程度	—	1割程度	2割程度		
花 き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ きくでは、高温により開花期の前進・遅延の発生による影響が全国では1割程度でみられた</li> </ul>	全国	北日本	東日本	西日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開花期安定のためのシェードの活用や電照栽培による日長操作、ヒートポンプの活用による夜冷、高温耐性品種の導入など</li> </ul>
	きく 開花期の前進・遅延	1割程度	—	1割程度	1割程度	
畜 産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳用牛では、高温により乳量・乳成分の低下、繁殖成績の低下の発生による影響が全国では1割程度でみられた</li> </ul>	全国	北日本	東日本	西日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 牛舎の送風・換気</li> <li>・ 細霧冷房の導入</li> <li>・ 早期給餌や日陰の確保 など</li> </ul>
		全国	北日本	東日本	西日本	
	乳用牛 乳量・乳成分の低下	1割程度	1割程度	2割程度	1割程度	 牛舎の細霧冷房装置
乳用牛 繁殖成績の低下	1割程度	1割程度	1割程度	1割程度		